

日本地すべり学会 研究調査部 研究委員会 年次活動報告書(令和元年度)

報告者：中村 真也 (令和2年 5月25日)

項目	内容
委員会名	すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会
委員名	(代表)：中村真也(琉球大) 伊藤拓馬(沖縄国際大), 梅村順(日本大), 木戸憲孝(日本工営), 木村匠(琉球大), 木村誇(愛媛大), 笹原克夫(高知大), 柴崎達也(国土防災技術), 杉本宏之(国立研究開発法人土木研究所地すべりチーム), 鈴木素之(山口大), 竹下航(国立研究開発法人土木研究所地すべりチーム), 野田翔兵(東京理科大), 長谷川陽一(国土防災技術), 古木宏和(日本工営), 本間宏樹(応用地質), 松四雄騎(京都大), 宮澤健児(日さく), 村尾英彦(村尾地研), 山崎新太郎(京都大) ※非会員 (調べて差し替えます)

本年度の主な活動	○令和 元年 7月18日～8月9日(参加者：19名)：委員アンケート調査 ・委員会の活動方向を検討するため、この委員会で掘り下げたい研究課題、他のメンバーから情報を得たい研究テーマ、企画したいこと、委員会の開催時期、場所、回数について、アンケート調査を行った。 ○令和 元年 8月22日(参加者：12名)：委員会 於 KKR ホテル熊本 ・すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会の趣旨を説明した ・委員会の位置づけについて議論した ・アンケート調査を基に活動方向を検討した ○令和 元年 2月(参加者：4名)：巡検の準備検討(電子メール会議) ・巡検について、2020年5月または6月開催予定で検討を行った(延期)
次年度の活動予定	○委員会および巡検を新型コロナ対応に問題の生じない範囲で開催する